

【科研費応募支援ニュースレターNo.32】 発信日 250206  
タイトル\_科学研究費助成事業（科研費）に関する説明会

教育職員各位

URA 高木敦子

いつもお世話になり、感謝申し上げます。URAの高木敦子です。  
お久しぶりでございます。

今回の『科研費応募支援ニュースレターNo.32』では、2025年1月28日にオンライン開催されました、文部科学省と日本学術振興会主催の『科学研究費助成事業（科研費）に関する説明会』での情報に関して、重要点をピックアップしてお伝えしたいと思います。

この説明会は科学研究費助成事業において今後予定されている制度改正事項について、全国の関係研究機関を対象に開催されたものです。

これは次の3部からなっています。

**1. 令和6年度補正予算及び令和7年度予算（案）等について**

- 1-1. 予算の概要
- 1-2. 海外連携研究
- 1-3. 研究設備共用の促進

**2. 令和7年度における制度改正事項について**

- 2-1. 安全保障貿易管理の要件化
- 2-2. 研究データの管理・利活用
- 2-3. 論文のオープンアクセス（OA）化

**3. 執行上の留意点等について**

- 3-1. 国際・若手支援強化枠採択課題の執行上の留意点
- 3-2. 分担金の直接送金

**1. 令和6年度補正予算及び令和7年度予算（案）等について**

- 1-1. 予算の概要

我が国の研究力が相対的に低下傾向にある中、国際的な研究活動の遅れを早急に取り戻し継続的な成長を実現するためには、国際競争力のある研究を加速させることが急務であることはご存じの通りです。

令和6年度補正予算（52億円）が決定、及び令和7年度の予算（案）の骨子が発表されました。令和7年度科研費申請では「国際性」の評価基準が導入されています。これに基づいて、①基盤研究(A・B・C)の「国際性」の評価が高い課題に関して、充足率をあげる（従来、科研費の充足率は70%程度となっていますが、これを100%近くに上げる）ことと、②基盤研究(B・C)の「国際性」の評価が高い若手（39歳以下）の課題を新たに創設する「国際・若手支援強化枠」として400件程度、追加採択されます。

科研費の公募スケジュールは、まだ、予定ですが、以下の通りです。

- ・基盤研究 S の公募期間は 4 月 11 日～6 月 17 日
- ・基盤研究 ABC・若手・挑戦的研究の公募期間は 7 月 14 日～9 月 17 日
- ・令和 7 年度採択分の研究スタート支援の公募期間は 3 月 1 日～5 月 8 日

正式に日本学術振興会から発表されましたら、学内締切日も含め、産業研究所事務室から皆様に一斉メールでご連絡をさせていただきます。

### 1-2. 海外連携研究

海外連携研究は令和 7 年度採択分以降の公募は行われなくなりました。

### 1-3. 研究設備共用の促進

これまで、科研費ハンドブック等で、単独の補助事業で購入した設備等について、当該研究課題の研究遂行に支障を来さない範囲で他の研究者を含め、他の研究にも使用することができることなどが推奨されています。共用の取組をより進めるために、令和 7 年度より使用ルールにおいて、科研費を使用して購入した研究設備・機器について共用することを努力義務化する予定とのこと。また、研究者が研究機器を購入する場合には、組織内外で現実的に利用可能な機器がないことを確認するように徹底すべきという意見もでています。

## 2. 令和 7 年度における制度改正事項について

### 2-1. 安全保障貿易管理の要件化

令和 7 年度に助成を受ける研究課題（新規・継続）から、交付申請・支払請求時に、研究代表者及び研究分担者は「安全保障貿易管理情報」（外為法の輸出規制にあたる貨物・技術の提供が予定されているか否か）の登録が必須となります。研究代表者及び研究分担者全員が安全保障貿易管理情報（リスト規制対象貨物の輸出又は技術提供予定の有無）を登録していない場合、送信ができません。

提供の予定がある場合は管理体制の有無について確認を行います。

とのことです。（本学の管理体制は既に整っております。）

### 2-2. 研究データの管理・利活用

令和 6 年度から原則全種目において、研究開始にあたり、研究代表者に DMP（データマネジメントプラン）作成が求められています（交付申請時に提出は不要）。

実績報告書・実施状況報告書において、科研費により生み出され、公開した研究データに関する情報（メタデータ等）の提出を求められています。

メタデータ情報は KAKEN 及び CiNiiResearch に連携され、登録・公開されます。

研究代表者は「研究発表の入力」画面において、発表した雑誌論文情報とその根拠データのメタデータ情報を入力してください。・提出を求めるのは公開している論文根拠データのメタデータ情報（非共有・非公開の根拠データについてはメタデータ情報の提出不要）です。

報告を求めるメタデータに関する項目は、掲載論文の根拠データの DOI・URL、データの名称、データの説明、データの分野、データの種別、管理対象データの利活用・提供方針、リポジトリ情報、データ管理者 です。

現在、本学では根拠データも含めた研究データの管理・公開のための基盤整備を進めるとともに、データマネジメントポリシーの策定に向け準備しているところです。

### 2-3. 論文のオープンアクセス (OA) 化

公的資金のうち令和 7 (2025) 年 4 月以降に新たに行う公募から、学術論文及び根拠データの学術雑誌掲載後、即時に機関リポジトリ等の情報基盤へ掲載することが義務付けられています。

即時オープンアクセスの対象は、以下の 2 つです。

査読付き学術論文：電子ジャーナルに掲載された査読済みの研究論文（著者最終稿を含む）

根拠データ：掲載電子ジャーナルの執筆要領、出版規程等において、透明性や再現性確保の観点から必要とされ、公表が求められる研究データ  
科研費の実施状況報告書・実績報告書において、学術論文及び根拠データの学術雑誌への掲載後の即時オープンアクセスの実施有無を報告する必要がある、即時オープンアクセス対応ができない場合はその理由を報告することとなります。

## 3. 執行上の留意点等について

### 3-1. 国際・若手支援強化枠採択課題の執行上の留意点

上述しましたように、令和 7 年度公募から「基盤研究 A・B・C」に「国際性」の評価基準が導入されましたが、令和 6 年度補正予算において、国際競争力のある研究を加速するために「基盤研究 B・C」における「国際・若手支援強化枠」の創設と 400 件程度の研究課題の採択が認められました。

このため、令和 7 年度公募に応募された研究課題の中から令和 6 年度補正予算における「国際・若手支援強化枠」で採択された課題については、令和 7 年 2 月に研究開始となります。採択が通知されましたら、改めて該当者には詳細を連絡いたします。

### 3-2. 分担金の直接送金

令和 7 年度以降の交付申請書・支払請求書記載の研究分担者の分担金については日本学術振興会から研究分担者所属機関に直接送金が行なわれます。

このメリットは、①分担金の早期送金による研究活動への早期着手、②研究機関の事務担当者の振込等の業務削減とのことです。

留意点は、交付申請書（支払請求書）提出時点で、配分する分担金の正確な把握（費目別内訳含む）が必要となることです。

以上です。

本説明会のアーカイブ配信がされています。

[https://youtube.com/live/O\\_vhPGNmCMw?feature=share](https://youtube.com/live/O_vhPGNmCMw?feature=share)  
セミナー時に出た質問に対する回答も公表される予定です。

<日本学術振興会ウェブページ>

[https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/06\\_jsps\\_info/2024/g\\_2834.html](https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/06_jsps_info/2024/g_2834.html)

に、資料の PDF（3つ）もありますので、ご参照下さい。

本学 web サイト【研究・社会連携»科学研究費助成事業】ページ内に、科研費の応募支援や研究支援に関する情報が掲載されています。

[https://www.osaka-sandai.ac.jp/research/grantinaid\\_scientific\\_research.html](https://www.osaka-sandai.ac.jp/research/grantinaid_scientific_research.html)

【ID: kenkyu パスワード : sanken3001】

これからも、科研費申請や研究に関し、情報共有のためメール発信させていただき、なにか少しでも先生方のお役に立てればと願っております。ご不明点、ご意見、ご希望などございましたら、メールで URA 高木敦子（[8atakagi@cnt.osaka-sandai.ac.jp](mailto:8atakagi@cnt.osaka-sandai.ac.jp)）まで、お伝えください。

失礼いたします。